

第6回DRFワークショップ@北海道大学
「これまでの5年間、これからの5年間」



次世代学術コンテンツ基盤構築 - NIIがめざす近未来 -

2010年2月5日(金)



国立情報学研究所 学術基盤推進部
学術コンテンツ課 図書館連携チーム
(IR/SPARC担当) 杉田いづみ

<http://www.nii.ac.jp/irp/>

<http://www.nii.ac.jp/sparc/>

izumi@nii.ac.jp

最先端学術情報基盤(CSI)の推進

■ 大学等学術機関とNIIの連携により推進

(CSI: Cyber Science Infrastructure)



■ NII 学術情報サービスの近未来

- CiNii, 研究者リゾルバー, JAIRO, KAKENを中心に

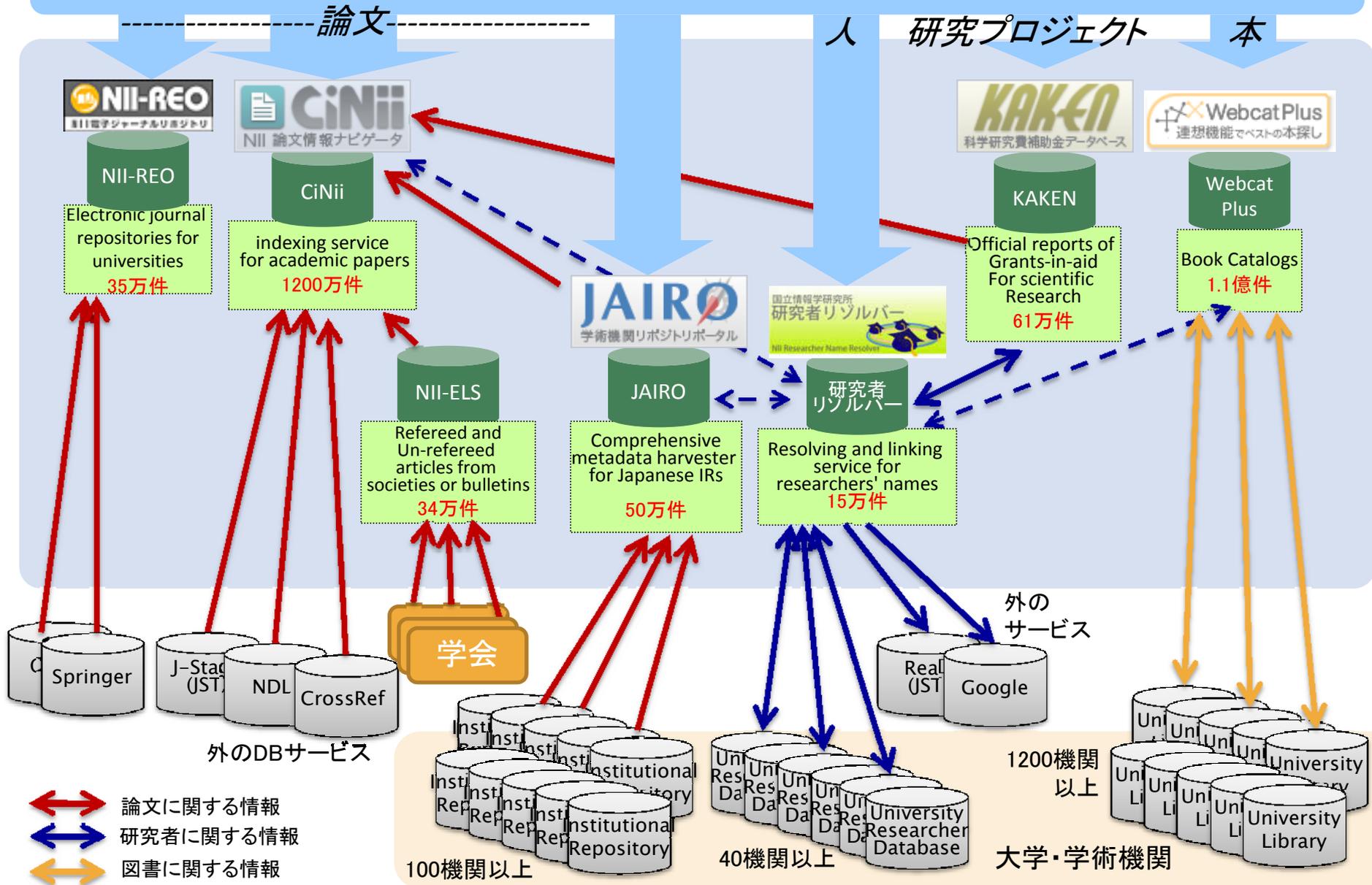
■ CSI第3期基本方針

■キーワードは、

人。

- CiNiiもKAKENもJAIROも，人に着目したサービス展開を進めている。
- 全体像を，NII学術コンテンツサービス研究開発センター長・武田英明先生に聞いてみました。

NIIの学術情報サービス(現在 & 近未来)



■ CiNii2.5 (仮称)

- 第11回図書館総合展の大向一輝先生の発表スライドにエッセンスがつまっています。



出典 CiNiiリニューアル記念ウェブAPIコンテスト発表会
「これからのCiNii」 大向一輝 (2009/11/11)
URL: <http://www.nii.ac.jp/content/event/libraryfair/>

CiNiiの新機能

CiNii 2.5 (仮称) プレビュー

NII



著者検索タブ

出典 CiNiiリニューアル記念ウェブAPIコンテスト発表会
「これからのCiNii」 大向一輝
URL: <http://www.nii.ac.jp/content/event/libraryfair/>

※注意:
画面はイメージです。実際の
画面・データとは異なります。

CiNiiの新機能

CiNii 2.5 (仮称)

NII

- NII著者ID (NRID) の導入
 - 科研費番号+機械処理による論文へのID付与
 - 同姓同名問題への対応
- NRIDベースの論文検索機能
 - 著者名入力→IDリスト→論文リスト
 - 通報機能

The screenshot shows a search interface with two tabs: '論文検索' (Paper Search) and '著者検索 (beta)' (Author Search (beta)). The 'Author Search (beta)' tab is selected. Below the tabs is a search input field labeled '著者名' (Author Name) and a search button labeled '著者検索' (Author Search).

National Institute of Informatics, Tokyo, Japan

H22年4月
試行サービス
リリース
(予定)

出典 CiNiiリニューアル記念ウェブAPIコンテスト発表会
「これからのCiNii」 大向一輝
URL: <http://www.nii.ac.jp/content/event/libraryfair/>

※注意:
画面はイメージです。実際の
画面・データとは異なります。

CiNiiの新しい著者検索を有効にするために

■ 「junii2ガイドライン」

● “creator” 項目必見！

- 「junii2には、1作成者について、出力する表記形は1つのみで、同一作成者の異表記形を出力しない」
- ガイドライン案公開・パブコメ受付（2009/12/17）
- 現在最終まとめ中（近日公開予定）

図書館連携作業部会WG2（IRシステム検討WG）

メタデータ検討班による力作

班長：静岡大・杉山さん

班員：北大・野中さん，千葉大・武内さん

● 今後の課題

- junii3（仮称）の検討。メタデータの構造化等

参考 NII学術機関リポジトリ構築連携支援事業システム情報

「junii2ガイドライン(案)」の公開

URL: http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/junii2_guide.html

研究者リゾルバーの近未来

■研究者リゾルバーにご注目

- NII学術コンテンツサービス研究開発センター
蔵川圭先生に聞いてみました。

背景：
著者名検索の課題

- ・同姓同名
- ・異標記

研究者リゾルバーαの目的

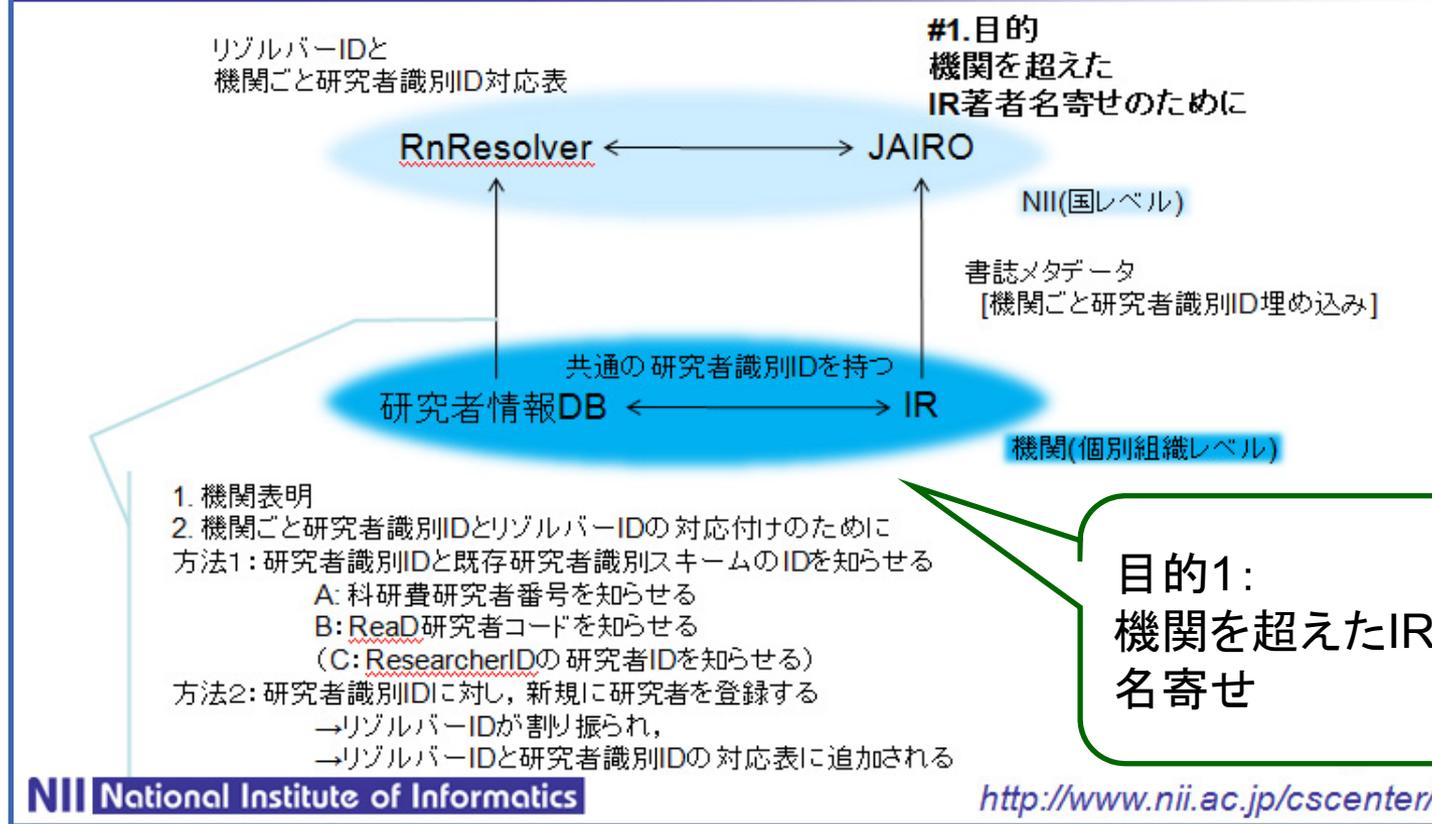
目的：
Web上の日本人
研究者典拠

2009-11-09

学術コンテンツサービス研究開発センター

研究者リゾルバーとIRと研究者DBの近未来

機関を超えたIR著者名寄せ



出典 「研究者リゾルバーαの目的」 蔵川圭(2009/11)

さらにCiNiiの著者名寄せにも

CiNii著者名寄せ

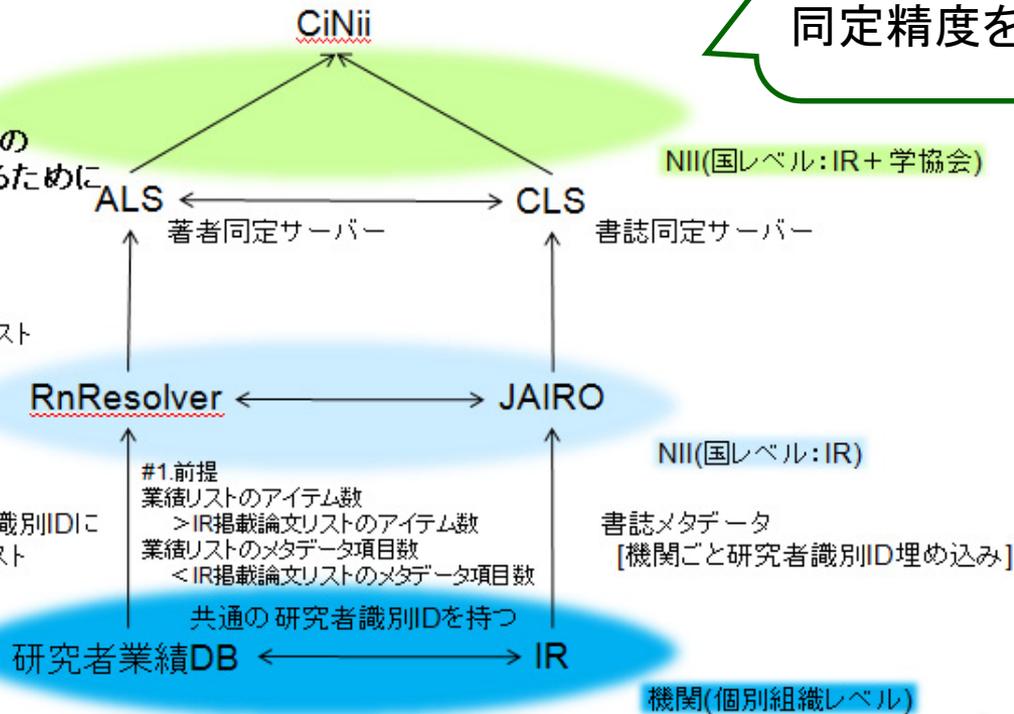
目的2:
CiNii著者名寄せの
同定精度を上げる

#2.目的

CiNii著者名寄せの
同定精度を上げるために

リゾルバーIDに
紐づいた業績リスト

機関ごと研究者識別IDに
紐づいた業績リスト



#1前提
業績リストのアイテム数
> IR掲載論文リストのアイテム数
業績リストのメタデータ項目数
< IR掲載論文リストのメタデータ項目数
共通の研究者識別IDを持つ

書誌メタデータ
[機関ごと研究者識別ID埋め込み]

KAKENの新機能

■ IR本文へのリンク

- 科研費の研究成果報告書に機関リポジトリのコンテンツのアドレスが記述されている場合、リンクを実現します

The screenshot shows a KAKEN research report page. At the top left is the KAKEN logo and the text '科学研究費補助金データベース'. Below it is the title '表現活動としての3Dアニメーション制作の教材化' and the research number '16530581'. A blue link says '← 課題ページに戻る'. The main title is '2006年度 研究実績報告書'. Below that is the representative name '上山 浩' with his ID '90223510' and affiliation '三重大学・教育学部・教授'. A green callout box points to the title with the text '2008年度以降の成果報告書が対象です'. Below the representative information is '(中略)'. At the bottom, there is a section for '発表文献' (Published Literature) with a citation: '上山 浩: "表現活動としての3Dアニメーション制作の教材化III-教育活動としての3DCG制作指導の成立-" 美術教育学(美術科教育学会誌) 第28号. 51-66 (2007)' and a URL: 'http://hdl.handle.net/10076/2657'. A small CINI logo is also present.

詳細は、H22年度公開。

学術コンテンツサービス研究開発
センターで開発中。

※注意：
画面はイメージです。実際の
画面・データとは異なります。

参考 「様式C-19(記入例)科学研究費補助金研究成果報告書」

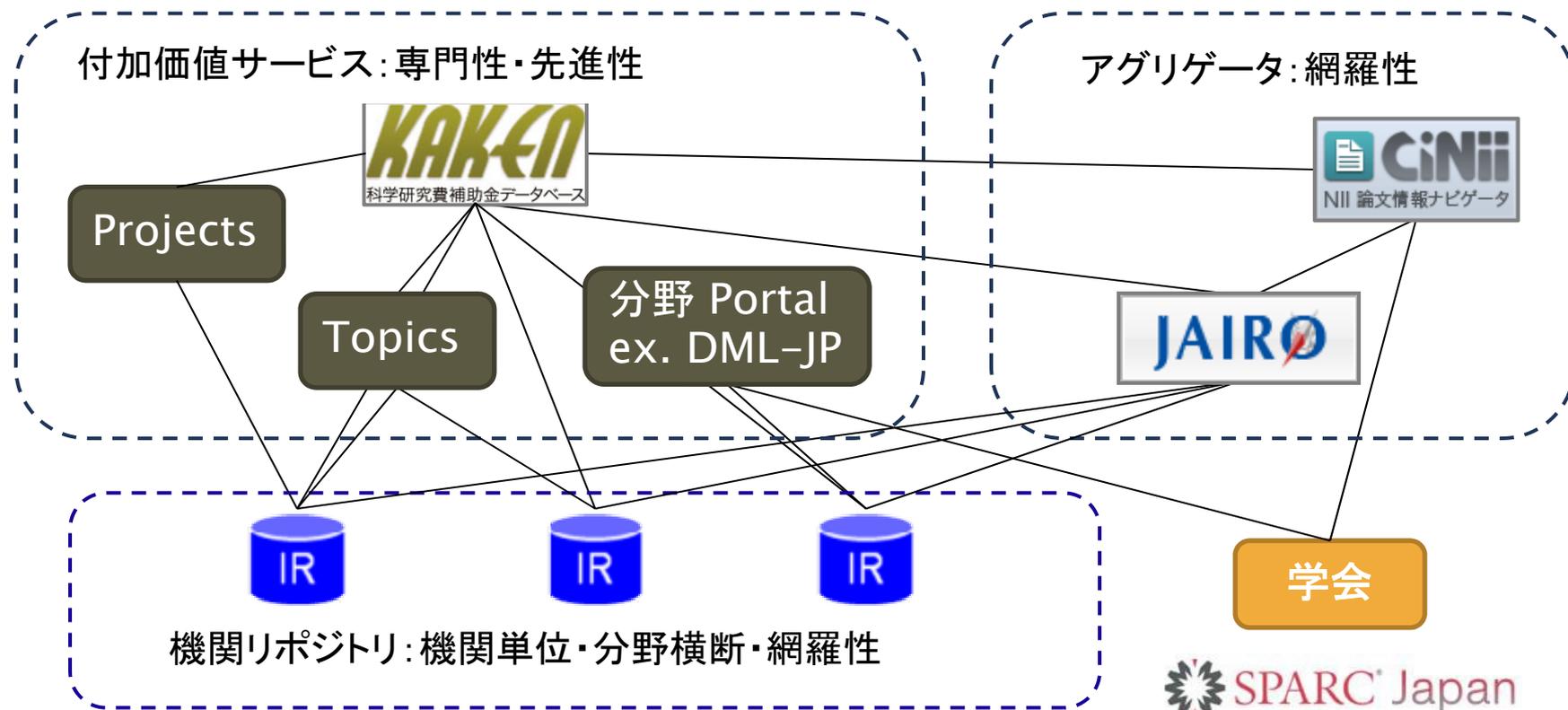
H21年度研究成果報告書から、「論文等の研究成果を機関リポジトリで公開している場合は、論文等にアクセスするためのアドレスを記入すること」が明記された。

URL: http://kikou.doshisha.ac.jp/gakugai/kagaku/C-19/jspsseika_chui.pdf

機関リポジトリから見た将来構想

□ 揺籃期から発展期へ

- 利用者にとって使えるサービス・質
- 重層的なサービス群



出典 “A Retrospective of NII Projects on New Perspectives in CSI”
Jun Adachi (NII) (2009/12/04)

URL: <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRFIC2009>

CSI第3期基本方針

■ 第2期までの成果と課題を受け、第3期は以下の3点を基本方針とする。

- (1) 研究教育の活性化を図り、学術コンテンツのオープンアクセスを進展させるために、平成22年度～24年度の3年間を第3期と位置づけ、本事業を継続する。
- (2) 委託事業の内容として、領域1を引き継ぐ「**コンテンツ構築支援**」、領域2を引き継ぐ「**先導的プロジェクト支援**」に加え、新たに「**リポジトリ担当者コミュニティ支援(仮称)**」を設定し、機関リポジトリの構築連携、機関リポジトリの高度化および付加価値向上、コミュニティの活性化を支援する。
- (3) 機関リポジトリの構築を検討している大学向けに、NIIがシステム基盤(ハードウェア・ソフトウェア)を第3期中に整備し、リポジトリシステム構築の選択肢として提供する。

参考 NII学術機関リポジトリ構築連携支援事業ニュース
「平成22年度委託事業基本方針」
URL: <http://www.nii.ac.jp/irp/>

一緒に作りましょう, 次世代学術コンテンツ基盤

■ CSI第3期委託事業へのご提案, プロジェクトへの積極的なご参加をお待ちしています。

■ Special Thanks!

● 平成21年度 学術コンテンツ運営・連携本部, 図書館連携作業部会, WGメンバーの皆さま

- WG1 新世代学術コンテンツ基盤システム検討WG
- WG2 IRシステム検討WG
- WG3 IRと学術情報発信高度化に向けた検討WG
- WG4 第3期CSI事業検討WG
- WG5 ERDB仕様検討WG
- WG6 人文社会系電子コレクション検討WG

H22年度の
体制, タスクは
検討中です

“Our future is in your hands!”

詳細は・・・

■ お問い合わせ先・情報入手先

学術機関リポジトリ構築連携支援事業
NII Institutional Repositories Program

リンク集 | English

HOME | ニュース | 事業について | 機関リポジトリ一覧 | 委託事業 | イベント情報 | ドキュメント | お問い合わせ

About Us
事業について [詳細はこちら](#)

機関リポジトリとは、大学とその構成員が創出したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービスです。
国立情報学研究所では、これまでのコンテンツ関連事業の成果を継承、拡充させ、次世代学術コンテンツ基盤の整備に資するために、各大学における機関リポジトリの構築とその連携を支援しています。

Current IRs
機関リポジトリ一覧 [詳細はこちら](#)

日本国内で公開されている機関リポジトリ一覧です。

Projects
委託事業 [詳細はこちら](#)

国立情報学研究所では多くの大学に機関リポジトリ構築推進のための事業を委託しています。

Contact
お問い合わせ [詳細はこちら](#)

学術機関リポジトリに関するご質問・ご意見はこちらまで。

Events
イベント情報 [詳細はこちら](#)

学術機関リポジトリに関するイベント情報です。

News
ニュース [一覧はこちら](#)

- 2010/02/02 平成22年度委託事業の基本方針を掲載しました。
- 2010/01/18 メンテナンス作業によるサービス停止について
- 2010/01/14 平成21年度委託事業「成果報告書」作成のお願い
- 2010/01/07 システムメンテナンス作業によるサービス停止について

Document
ドキュメント

- 基本文献
- 翻訳資料
- コンテンツ提供
- システム情報
- 広報資料
- 調査・報告資料
- 委託事業各種様式

JAIRO 学術機関リポジトリポータルJAIRO

IRDBコンテンツ分析システム

国立情報学研究所
学術基盤推進部
学術コンテンツ課
図書館連携チーム
(機関リポジトリ担当)

ir@nii.ac.jp

<http://www.nii.ac.jp/irp/>